

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のお引き立てにあずかり、厚くお礼申し上げます。

さて、「フィデリティ・世界分散・ファンド(債券重視型)」と「フィデリティ・世界分散・ファンド(株式重視型)」は、第104期から第106期までの決算を行いました。当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、世界の債券、株式、不動産投資信託(リート)へ実質的に分散投資を行い、主として配当等収入を確保することを目的に運用を行い、長期的な投資信託財産の成長を目指しました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

## フィデリティ・世界分散・ファンド (債券重視型／株式重視型) 愛称:3つのチカラ

追加型投信／内外／資産複合

### 交付運用報告書

第104期(決算日 2023年7月10日)

第105期(決算日 2023年9月11日)

第106期(決算日 2023年11月10日)

作成対象期間(2023年5月11日～2023年11月10日)

日経新聞掲載名

債券重視型:世分散債

株式重視型:世分散株

### <お問合せ先>

フィデリティ投信株式会社

カスタマー・コミュニケーション部

東京都港区六本木七丁目7番7号 TRI-SEVEN ROPPONGI

 **0120-00-8051**(無料)

受付時間:営業日の午前9時～午後5時

 <https://www.fidelity.co.jp/>

お客様の口座内容などに関するご照会は、お申し込みされた販売会社にお尋ねください。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、委託会社のホームページから下記の手順で閲覧、ダウンロードできます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

### <閲覧方法>

上記URLにアクセス⇒「ファンド情報」より「基準価額一覧」を選択⇒当ファンドの「運用レポート目録見書等」を選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択

第106期末  
(決算日 2023年11月10日)

基準価額	(債券重視型)	(株式重視型)
	10,655円	11,166円
純資産総額	(債券重視型)	(株式重視型)
	6,490百万円	4,832百万円
第104期～第106期 (2023年5月11日～2023年11月10日)		
騰落率	(債券重視型)	(株式重視型)
	7.9%	8.4%
分配金合計	(債券重視型)	(株式重視型)
	210円	420円

(注)騰落率は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

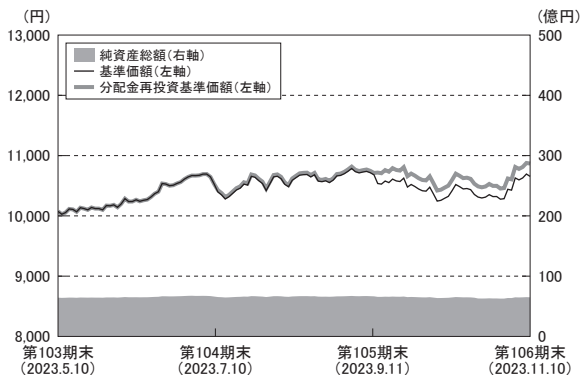
フィデリティ投信株式会社



# 1. 運用経過の説明

## ① 基準価額等の推移

### (債券重視型)

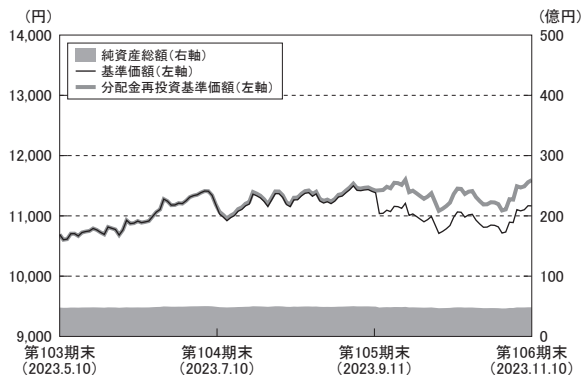


第104期首: 10,075円

第106期末: 10,655円(既払分配金210円)

騰落率: 7.9%(分配金再投資ベース)

### (株式重視型)



第104期首: 10,691円

第106期末: 11,166円(既払分配金420円)

騰落率: 8.4%(分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、2023年5月10日の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

\* 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

※当ファンドは、運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマーク及び参考指数は設定しておりません。

## ② 基準価額の主な変動要因

当期のフィデリティ・世界分散・ファンド(債券重視型)のリターンは+7.9%、フィデリティ・世界分散・ファンド(株式重視型)のリターンは+8.4%でした。

### <プラス要因>

- ・世界の株式市場が堅調に推移したこと
- ・円に対して米ドル、英ポンド、ユーロが上昇したこと

### <マイナス要因>

- ・世界の国債及びリートが低迷したこと

### ③ 1万口当たりの費用明細

#### (債券重視型)

項目	第104期～第106期		項目の概要
	2023年5月11日～2023年11月10日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	45円	0.431%	(a) 信託報酬 = 当作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,458円です。
(投信会社)	(10)	(0.094)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(32)	(0.304)	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの 管理及び事務手続き等の対価
(受託会社)	(3)	(0.033)	運用財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.000	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{当作成期中の売買委託手数料}}{\text{当作成期中の平均受益権口数}}$
(投資証券)	(0)	(0.000)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	0	0.001	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{当作成期中の有価証券取引税}}{\text{当作成期中の平均受益権口数}}$
(投資証券)	(0)	(0.001)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	2	0.019	(d) その他費用 = $\frac{\text{当作成期中のその他費用}}{\text{当作成期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(0)	(0.002)	保管費用は、有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等のために、海外 における保管銀行等に支払う費用。また、信託事務の諸費用等が含まれます。
(監査費用)	(0)	(0.003)	監査費用は、ファンドの監査人等に対する報酬及び費用
(その他)	(2)	(0.014)	その他には、法定書類等(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等)の作成、 印刷、提出等に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含ま れます。
合計	47	0.451	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

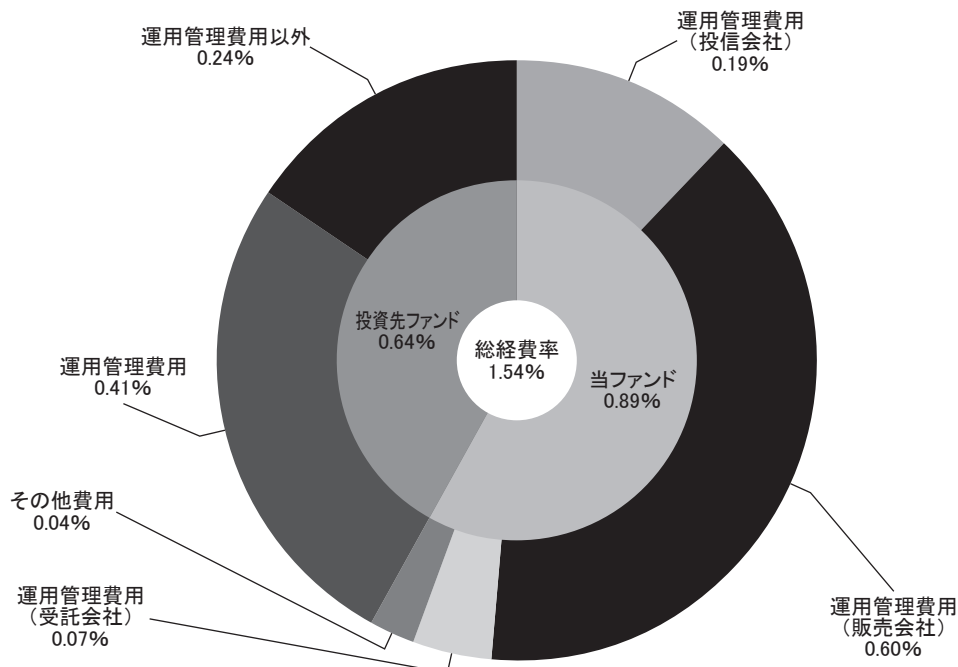
(注2) 「金額」欄は、各項目毎に円未満を四捨五入しています。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## (参考情報)

### ●総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.54%です。



総経費率(①+②+③)	1.54%
①当ファンドの費用の比率	0.89%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.41%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.24%

(注1)①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2)各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3)その他費用には、保管費用、監査費用以外に法定書類等(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等)の作成、印刷、提出等に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含まれます。

(注4)各比率は、年率換算した値です。

(注5)投資先ファンドとは、当ファンドが実質的に組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)です。

(注6)①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注7)①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

(株式重視型)

項目	第104期～第106期		項目の概要
	2023年5月11日～2023年11月10日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	48円	0.431%	(a) 信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は11,069円です。
(投信会社)	(10)	(0.094)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(34)	(0.304)	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの 管理及び事務手続き等の対価
(受託会社)	(4)	(0.033)	運用財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.000	(b) 売買委託手数料＝ $\frac{\text{当作成期中の売買委託手数料}}{\text{当作成期中の平均受益権口数}}$
(投資証券)	(0)	(0.000)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝ $\frac{\text{当作成期中の有価証券取引税}}{\text{当作成期中の平均受益権口数}}$
(投資証券)	(0)	(0.001)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	2	0.020	(d) その他費用＝ $\frac{\text{当作成期中のその他費用}}{\text{当作成期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(0)	(0.001)	保管費用は、有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等のために、海外 における保管銀行等に支払う費用。また、信託事務の諸費用等が含まれます。
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査費用は、ファンドの監査人等に対する報酬及び費用
(その他)	(2)	(0.015)	その他には、法定書類等(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等)の作成、 印刷、提出等に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含ま れます。
合計	50	0.452	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

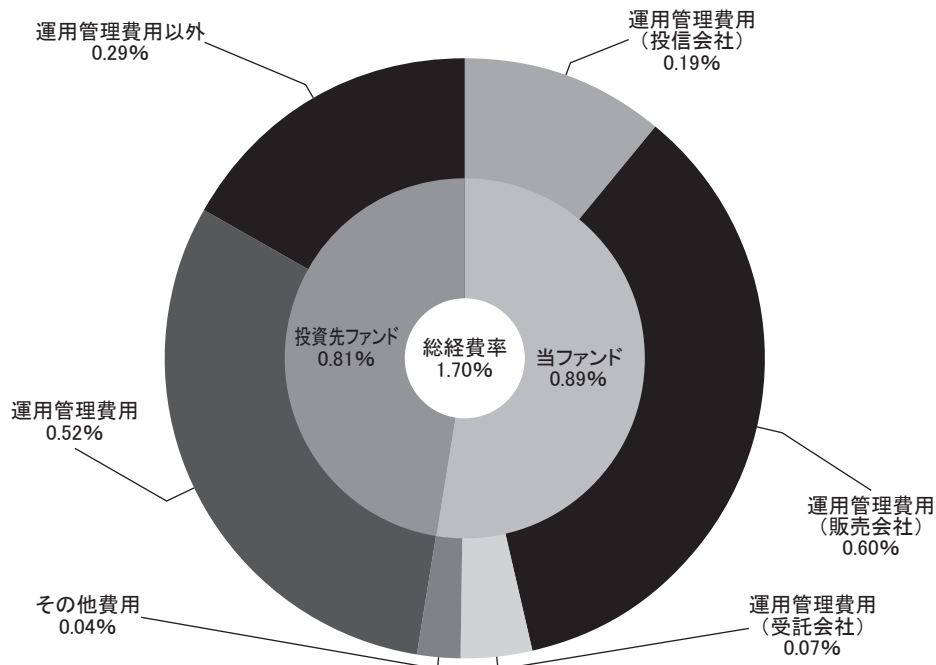
(注2) 「金額」欄は、各項目毎に円未満を四捨五入しています。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## (参考情報)

### ●総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.70%です。



総経費率(①+②+③)	1.70%
①当ファンドの費用の比率	0.89%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.52%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.29%

(注1)①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2)各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3)その他費用には、保管費用、監査費用以外に法定書類等(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等)の作成、印刷、提出等に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含まれます。

(注4)各比率は、年率換算した値です。

(注5)投資先ファンドとは、当ファンドが実質的に組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)です。

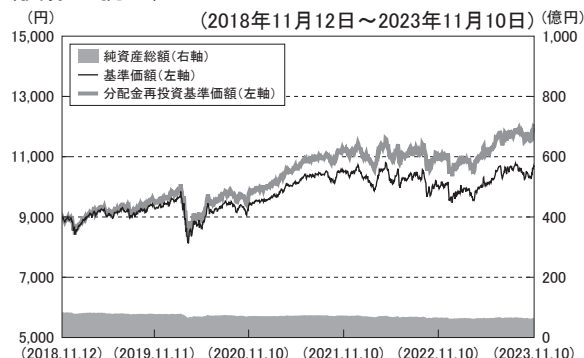
(注6)①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注7)①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

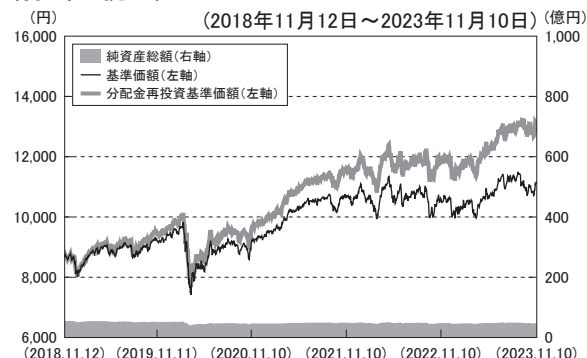
(注8)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## ④最近5年間の基準価額等の推移

### (債券重視型)



### (株式重視型)



### (債券重視型)

	2018年11月12日 期首	2019年11月11日 決算日	2020年11月10日 決算日	2021年11月10日 決算日	2022年11月10日 決算日	2023年11月10日 決算日
基準価額 (円)	8,997	9,300	9,387	10,490	10,054	10,655
期間分配金合計(税引前) (円)	—	190	180	250	250	300
分配金再投資基準価額騰落率(%)	—	5.6	2.9	14.5	△1.8	9.1
純資産総額 (百万円)	8,396	7,795	7,127	7,274	6,638	6,490

### (株式重視型)

	2018年11月12日 期首	2019年11月11日 決算日	2020年11月10日 決算日	2021年11月10日 決算日	2022年11月10日 決算日	2023年11月10日 決算日
基準価額 (円)	8,750	9,200	9,157	10,625	10,596	11,166
期間分配金合計(税引前) (円)	—	230	210	325	390	590
分配金再投資基準価額騰落率(%)	—	7.9	1.9	19.7	3.4	11.2
純資産総額 (百万円)	5,545	5,171	4,660	4,893	4,785	4,832

(注) 分配金再投資基準価額は、2018年11月12日の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

\* 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

※当ファンドは、運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマーク及び参考指数は設定しておりません。

## ⑤投資環境

### 【債券】

当期の世界の債券市場はハイ・イールド債券や新興国債券が国債を上回るパフォーマンスを見せるなどまちまちの展開となりました。期初は3月に発生した銀行セクターを巡る懸念から依然として不透明感が残る中、米地銀のファースト・リパブリック・バンク(FRC)が破綻・閉鎖に追い込まれましたが、大手銀行がFRCを買収したことなどが市場の安心感につながり、ボラティリティが大幅に低下しました。その後、期中盤にかけては堅調な企業業績や労働市場、経済の底堅さに加え、インフレ率の鈍化傾向が示されたことを背景に市場には楽観的な見方が広がりました。しかし、10月に入ると、中東情勢の緊迫化を受けて投資家心理は悪化しました。主要中央銀行の金融政策に目を向けると、米連邦準備制度理事会(FRB)は、5月と7月の米連邦公開市場委員会(FOMC)で0.25%幅の利上げを行った後、9月のFOMCに続いて11月も政策金利を据え置き、追加利上げを見送りましたが、高い金利水準が長期化するとの見方を示しました。欧州中央銀行(ECB)は5月、6月、7月、9月と利上げを実施しましたが、10月の会合では政策金利の据え置きを決定しました。一方、日銀はイールド・カーブ・コントロールの運用の柔軟化を進めました。こうした状況の下、先進国を中心に国債利回りが上昇し、数年来の高水準となりました。社債は、景気後退リスクが和らいだことなどから、多くの地域でクレジット・スプレッドが縮小しました。投資適格債券は国債利回りの上昇が逆風となり、下落する展開となった一方、ハイ・イールド債券はアジアを除くすべての地域でプラスのパフォーマンスとなりました。

### 【株式】

当期の世界の株式市場は上昇しました。期前半は、先進国のインフレ率に鎮静化の兆しが見え、市場では主要中央銀行が金融引き締めペースをさらに緩めるのではないかと期待が高まりました。また、堅調な企業業績や米国の4-6月期のGDP(国内総生産)の伸び率など、経済の底堅さが示され、市場では世界経済のソフトランディング(軟着陸)に対する期待が高まり、投資家心理を下支えしました。しかし期後半に入ると、インフレ率が依然として目標よりも高い水準で推移していることから、主要中央銀行は積極的な金融引き締め姿勢を維持し、高い金利水準が長期化する可能性が高いとの見方を示唆したことなどが投資家心理の重石となりました。また、中国の軟調な経済データや低迷が続く不動産セクターも市場の下押し圧力となりました。期終盤は、中東情勢の緊迫化が投資家心理をさらに冷やす展開となりました。このような状況の下、米国と日本が最も上昇した一方、日本を除く太平洋地域及び欧州は下落して期を終えました。中国経済の軟化を背景に、新興国市場は横ばいとなりました。業種別では、情報技術及びコミュニケーション・サービスが最も上昇しました。

### 【不動産投資信託(リート)】

当期の世界のリート市場は高い金利水準が長期化するとの見方から、下落して期を終えました。低迷が続く中国の不動産セクターの影響が世界の不動産セクター全体に波及し、投資家心理をさらに冷やす展開となりました。国別に見ると、米国は住宅の供給不足により、既に価格が高騰している市場に住宅ローン金利の上昇という圧力がさらに加わりました。ユーロ圏では、ドイツの不動産市場は借入れコスト上昇による先行き不透明感が残るものの、住宅価格に落ち着きが見られたことから横ばいで期を終えました。アジアでは、中国の不動産市場のボラティリティが上昇する中、中国不動産開発大手2社が経営難に陥ったことなどを背景に香港の不動産銘柄が急落しました。中国政府は、住宅ローン金利の引き下げや株式取引に係る印紙税の引き下げなど資本市場の活性化に向けた支援策を打ち出しました。日本は円安に加え、物流やサービス業にけん引された景気回復が市場を下支えたことなどから、海外投資家の関心が高まったものの、下落して期を終えました。英国のリート市場は6月に英イングランド銀行(中央銀行、BOE)が市場予想を上回る利上げを行ったことから、下落しました。



## ⑥ポートフォリオ

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、世界（日本を含む）の債券、株式、不動産投資信託（リート）に分散投資を行い、主に配当等収入を確保することを目的とした運用を行うとともに、長期的な投資信託財産の成長を目指しております。

マザーファンドの組み入れは、「債券重視型」について債券70%、株式15%、リート15%、「株式重視型」について債券35%、株式50%、リート15%の基本配分比率に基づき、各資産の利回り水準、流動性、リスク・リターン特性などを考慮して、配当等収入の確保とリスクの分散を目指して決定しております。当期につきましても、原則として、この比率を目標とした運用を行いました。

## ⑦ベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマーク及び参考指数は設定しておりません。

## ⑧分配金

### (債券重視型)

当作成期の1万口当たり分配金(税引前)は、分配方針に基づき下記表中の分配額とさせていただきます。また、収益分配に充てなかった利益につきましては投資信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

#### ●分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項目	第104期	第105期	第106期
	2023年5月11日～2023年7月10日	2023年7月11日～2023年9月11日	2023年9月12日～2023年11月10日
当期分配金	30	150	30
(対基準価額比率)	0.29%	1.40%	0.28%
当期の収益	30	150	30
当期の収益以外	—	—	—
翌期繰越分配対象額	941	983	1,102

### (株式重視型)

当作成期の1万口当たり分配金(税引前)は、分配方針に基づき下記表中の分配額とさせていただきます。また、収益分配に充てなかった利益につきましては投資信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

#### ●分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項目	第104期	第105期	第106期
	2023年5月11日～2023年7月10日	2023年7月11日～2023年9月11日	2023年9月12日～2023年11月10日
当期分配金	35	350	35
(対基準価額比率)	0.32%	3.07%	0.31%
当期の収益	35	350	35
当期の収益以外	—	—	—
翌期繰越分配対象額	1,970	1,975	2,103

- \* 「当期の収益」および「当期の収益以外」は円未満切捨てのため、合計額が「当期分配金」と一致しない場合があります。
- \* 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
- \* 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」が当該決算期末日時点の基準価額を上回ることがありますが、実際には基準価額を超えて分配金が支払われることはありません。

## 2. 今後の運用方針

当ファンドは、中長期的な観点から見たリスクの分散と配当等を含む収益の獲得に着目し、複数の資産に投資を行っています。今後も、投資信託証券への投資を通じ、基本資産配分比率から大きく乖離しない形で、3つの資産へ分散投資を行ってまいります。また、各投資信託証券におきましては、引き続きグローバルに展開する社内の調査ネットワークを活用した銘柄選択を行ってまいります。

## 3. お知らせ

該当事項はありません。

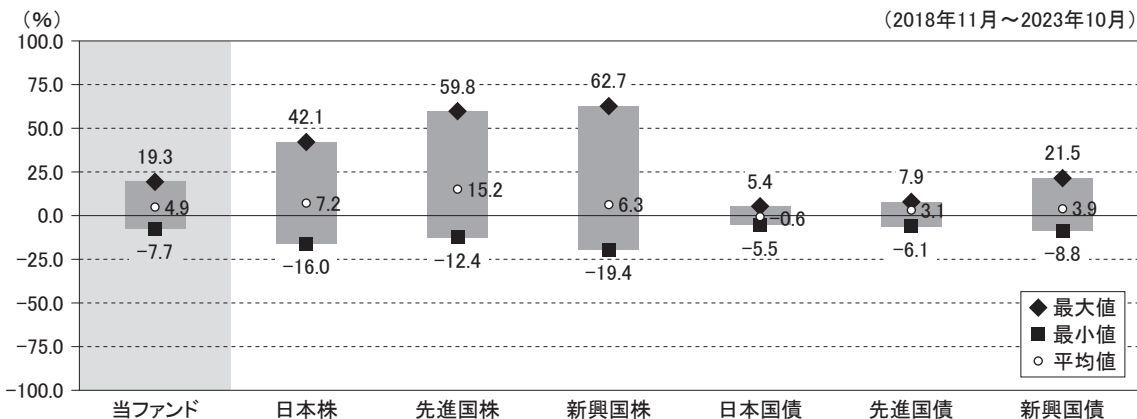
## 4. 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	原則無期限です。	
運用方針	主として、フィデリティ・ワールド債券・マザーファンド、フィデリティ・ワールド株式・マザーファンド、フィデリティ・グローバル・リート・マザーファンドの各受益証券への投資を通じて、世界の債券、株式、不動産投資信託(リート)へ実質的に分散投資を行い、主として配当等収入を確保することを目的に運用を行い、長期的な投資信託財産の成長を目指します。	
主要投資対象	当ファンド	主として、フィデリティ・ワールド債券・マザーファンド、フィデリティ・ワールド株式・マザーファンド、フィデリティ・グローバル・リート・マザーファンドの各受益証券に投資します。
	フィデリティ・ワールド債券・マザーファンド	世界の各種債券に投資する投資信託証券を主要な投資対象とします。
	フィデリティ・ワールド株式・マザーファンド	世界の取引所に上場されている株式に投資する投資信託証券を主要な投資対象とします。
	フィデリティ・グローバル・リート・マザーファンド	日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されている不動産投資信託証券(リート)を主要な投資対象とします。
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各マザーファンド受益証券への投資を通じて、世界(日本を含みます。)の債券、株式、不動産投資信託(リート)へ実質的に分散投資を行い、主として配当等収入を確保することを目的に運用を行い、長期的な投資信託財産の成長を目指します。</li> <li>●フィデリティ・ワールド債券・マザーファンド、フィデリティ・ワールド株式・マザーファンドの運用は、国内外の投資信託証券(投資対象ファンド)への投資を通じて行い、ファンド分散・地域(種別)分散を図ります。</li> <li>●基本資産配分に関する運用にあたっては、FILインベストメント・マネジメント(香港)・リミテッドに、運用の指図に関する権限を委託します。</li> <li>●ファンドの運用にあたっては、FILインベストメンツ・インターナショナルに、上記以外のファンドの運用の指図に関する権限を委託することがあります。</li> </ul>	
分配方針	<p>毎決算時(原則1月、3月、5月、7月、9月および11月の各10日。同日が休業日の場合は翌営業日。)に、原則として以下の収益分配方針に基づき分配を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子・配当等収入と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。</li> <li>●収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。</li> <li>●留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</li> </ul>	

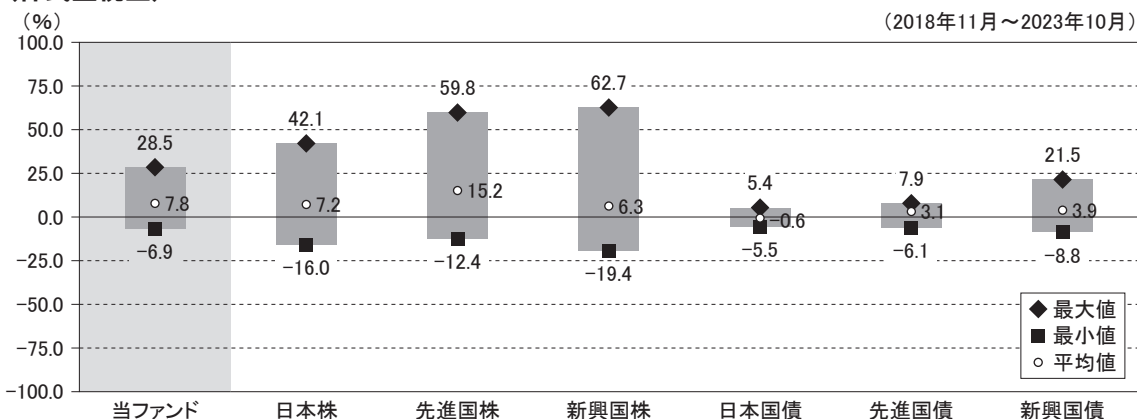
## 5. 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

### 当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(債券重視型)



(株式重視型)



(注1) 2018年11月～2023年10月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示し、当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

(注2) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注3) 当ファンドは税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

(注4) 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※各資産クラスの指数

日本株・・・TOPIX(配当込)

先進国株・・・MSCI コクサイ・インデックス(税引前配当金込/円ベース)

新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス(税引前配当金込/円ベース)

日本国債・・・NOMURA-BPI 国債

先進国債・・・FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債・・・J. P. モルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)

\* 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、指数提供元にて円換算しています。

\* 詳細は後述の「指数に関して」をご参照下さい。

## 6. 当ファンドのデータ

### ①組入資産の内容

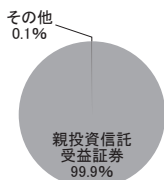
(債券重視型)

組入上位ファンド

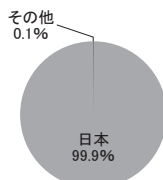
(2023年11月10日現在)

ファンド名	組入比率
フィデリティ・ワールド債券・マザーファンド	70.5%
フィデリティ・ワールド株式・マザーファンド	14.9
フィデリティ・グローバル・リート・マザーファンド	14.5
組入ファンド数	3ファンド

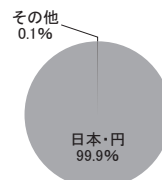
資産別配分



国別配分



通貨別配分



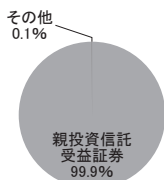
(株式重視型)

組入上位ファンド

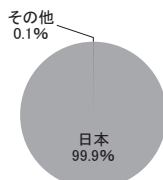
(2023年11月10日現在)

ファンド名	組入比率
フィデリティ・ワールド株式・マザーファンド	50.3%
フィデリティ・ワールド債券・マザーファンド	35.1
フィデリティ・グローバル・リート・マザーファンド	14.5
組入ファンド数	3ファンド

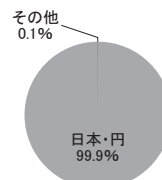
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1)各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

(注2)国別配分は、発行国・地域を表示しています。

(注3)「その他」には現金を含みます。未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

\* 詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

## ②純資産等

### (債券重視型)

項目	第104期末	第105期末	第106期末
	2023年7月10日	2023年9月11日	2023年11月10日
純資産総額	6,531,424,763円	6,561,806,891円	6,490,825,000円
受益権総口数	6,281,992,608口	6,227,425,774口	6,091,847,907口
1万口当たり基準価額	10,397円	10,537円	10,655円

(注) 当作成期中における追加設定元本額は72,990,132円、同解約元本額は362,487,530円です。

### (株式重視型)

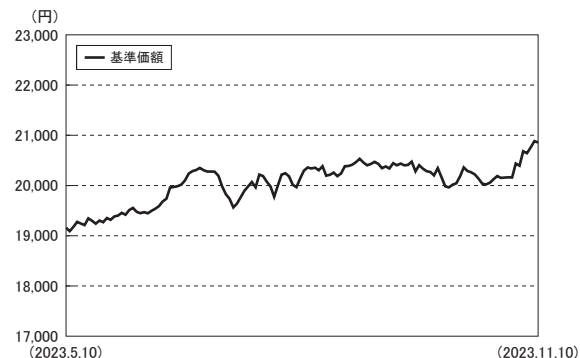
項目	第104期末	第105期末	第106期末
	2023年7月10日	2023年9月11日	2023年11月10日
純資産総額	4,854,240,531円	4,793,069,019円	4,832,598,596円
受益権総口数	4,400,018,756口	4,342,192,777口	4,328,128,440口
1万口当たり基準価額	11,032円	11,038円	11,166円

(注) 当作成期中における追加設定元本額は115,277,494円、同解約元本額は263,636,376円です。

### ③組入上位ファンドの概要

#### フィデリティ・ワールド債券・マザーファンド

#### 基準価額の推移



(別途記載がない限り2023年11月10日現在)

#### 組入上位ファンド

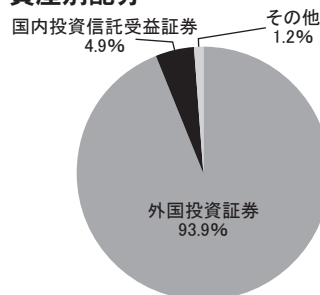
ファンド名	組入比率
フィデリティ・ファンズユーロ・ボンド・ファンド	35.8%
フィデリティ・ファンズーUSDドル・ボンド・ファンド	35.8
フィデリティ・ファンズーエマージング・マーケット・デット・ファンド	9.3
組入ファンド数	6ファンド

#### 1万口当たりの費用明細

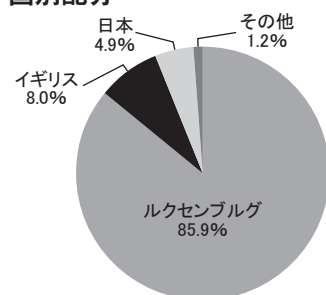
(2023年5月11日～2023年11月10日)

項目	金額
(a) 売買委託手数料	－円
(b) 有価証券取引税	－
(c) その他費用 (保管費用)	0 (0)
合計	0

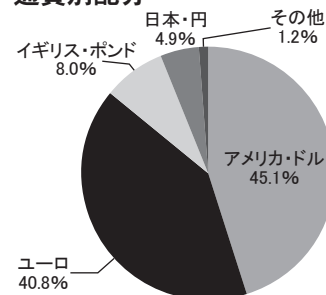
#### 資産別配分



#### 国別配分



#### 通貨別配分



(注1) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもので、前述の「1万口当たりの費用明細」の項目の概要および注記をご参照ください。ただし、各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドは除く)が支払った費用を含みません。

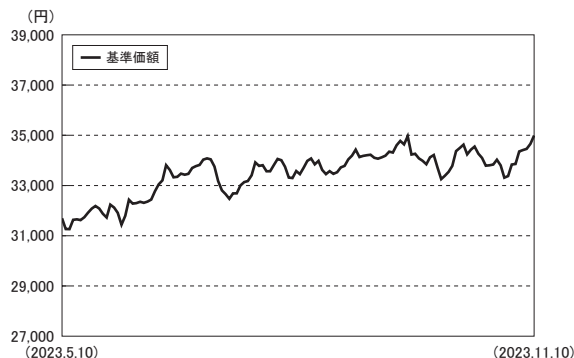
(注2) 各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

(注3) 国別配分は、発行国・地域を表示しています。

(注4) 「その他」には現金を含みます。未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

\* 詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

## フィデリティ・ワールド株式・マザーファンド 基準価額の推移



(別途記載がない限り2023年11月10日現在)

## 組入上位ファンド

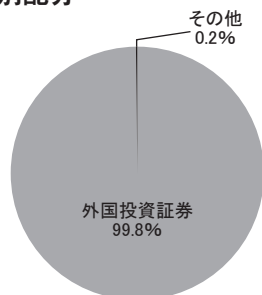
ファンド名	組入比率
フィデリティ・ファンズーグローバル・ディビデンド・ファンド	99.8%
フィデリティ・ファンズーUSドル・キャッシュ・ファンド	0.1
組入ファンド数	2ファンド

## 1万口当たりの費用明細

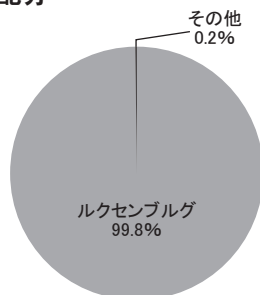
(2023年5月11日～2023年11月10日)

項目	金額
(a) 売買委託手数料	－円
(b) 有価証券取引税	－
(c) その他費用 (保管費用)	0 (0)
合計	0

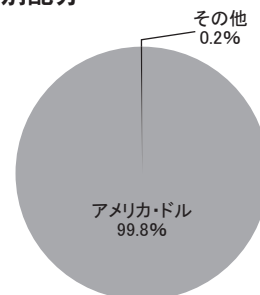
## 資産別配分



## 国別配分



## 通貨別配分



(注1) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもので、前述の「1万口当たりの費用明細」の項目の概要および注記をご参照ください。ただし、各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドは除く)が支払った費用を含みません。

(注2) 各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

(注3) 国別配分は、発行国・地域を表示しています。

(注4) 「その他」には現金を含みます。未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

\* 詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

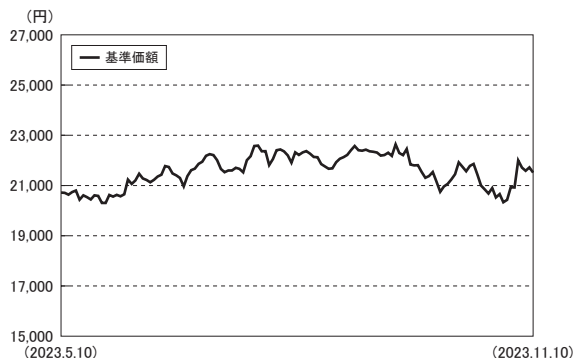


## フィデリティ・グローバル・リート・マザーファンド 基準価額の推移

(別途記載がない限り2023年11月10日現在)

## 組入上位10銘柄

	銘柄名	通貨	比率
1	PROLOGIS INC	アメリカ・ドル	7.9%
2	DIGITAL REALTY TRUST INC	アメリカ・ドル	7.6
3	AMERICAN HOMES 4 RENT CL A	アメリカ・ドル	6.8
4	INVITATION HOMES INC	アメリカ・ドル	6.6
5	EQUITY LIFESTYLE PROPERTIES	アメリカ・ドル	6.4
6	PUBLIC STORAGE INC	アメリカ・ドル	5.8
7	WELLTOWER INC	アメリカ・ドル	5.4
8	EQUITY RESIDENTIAL	アメリカ・ドル	4.8
9	CAMDEN PROPERTY TRUST - REIT	アメリカ・ドル	4.0
10	SEGRO PLC	イギリス・ポンド	3.8
組入銘柄数		24銘柄	

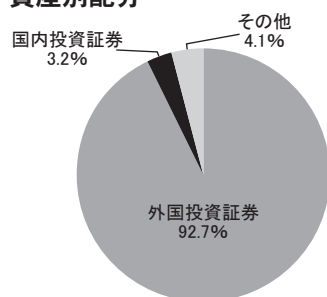


## 1万口当たりの費用明細

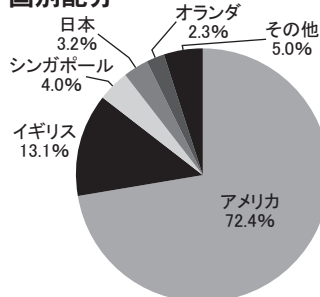
(2023年5月11日～2023年11月10日)

項目	金額
(a) 売買委託手数料 (投資証券)	0円 (0)
(b) 有価証券取引税 (投資証券)	1 (1)
(c) その他費用 (保管費用)	2 (2)
合計	3

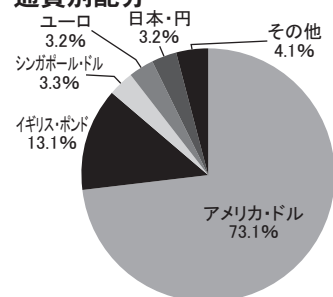
## 資産別配分



## 国別配分



## 通貨別配分



(注1) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもので、前述の「1万口当たりの費用明細」の項目の概要および注記をご参照ください。

(注2) 各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

(注3) 国別配分は、発行国・地域を表示しています。

(注4) 「その他」には現金を含みます。未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

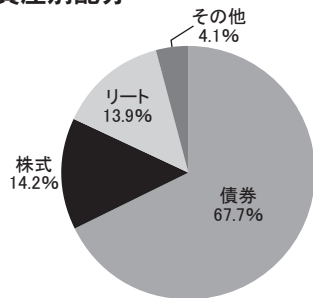
\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

## (参考)

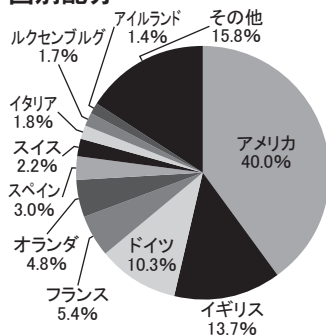
各マザーファンドが直接投資しているのは投資信託証券ですが、下記はその先の投資資産を表示しております。

(2023年11月10日現在)

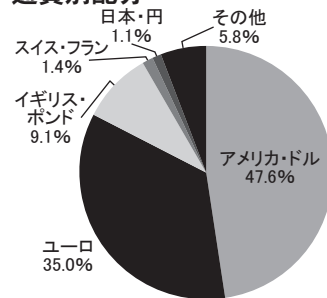
### (債券重視型) 資産別配分



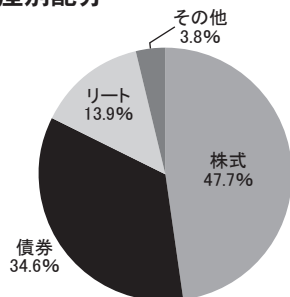
### 国別配分



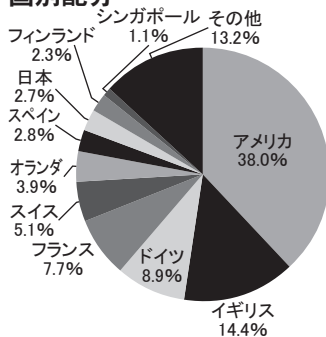
### 通貨別配分



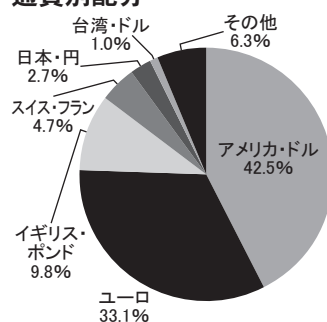
### (株式重視型) 資産別配分



### 国別配分



### 通貨別配分



(注1) グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

(注2) 国別配分は、国・地域を表示しています。

\* フィデリティ投信が2023年11月10日時点の、取得可能な投資対象ファンドのデータに基づき作成しています。運用報告書(全体版)に記載されているデータとは異なります。

## 組入上位ファンドにおける直近の決算日時点の組入上位10銘柄

### フィデリティ・ワールド債券・マザーファンド

#### ●フィデリティ・ファンズ-ユーロ・ボンド・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)

(2023年4月30日現在)

	銘柄名	国・地域	比率
1	Germany 1.70% 15/08/2032	ドイツ	16.1%
2	Germany 2.85% 15/12/2023	ドイツ	6.8
3	Volkswagen Int'l Finance 4.375% VRN (Perpetual)	オランダ	3.1
4	Deutsche Bank 4.00% VRN 24/06/2032 EMTN	ドイツ	2.9
5	Barclays (Ugtd) 5.262% VRN 29/01/2034 EMTN	イギリス	2.9
6	Honeywell International 4.125% 02/11/2034	アメリカ	2.9
7	ASR Nederland 7.00% VRN 07/12/2043	オランダ	2.7
8	BFCM Paris 4.375% 02/05/2030 EMTN	フランス	2.7
9	CaixaBank 6.25% VRN 23/02/2033 EMTN	スペイン	2.5
10	Intesa Sanpaolo 6.184% VRN 20/02/2034 EMTN	イタリア	2.4

#### ●フィデリティ・ファンズ-USDル・ボンド・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)

(2023年4月30日現在)

	銘柄名	国・地域	比率
1	US Treasury 4.00% 29/02/2028	アメリカ	12.8%
2	US Treasury 4.00% 28/02/2030	アメリカ	7.7
3	US Treasury 4.50% 30/11/2024	アメリカ	6.7
4	US Treasury 4.125% 15/11/2032	アメリカ	6.3
5	US Treasury 4.50% 15/11/2025	アメリカ	4.7
6	US Treasury 4.00% 15/11/2052	アメリカ	3.2
7	US Treasury 1.875% 15/11/2051	アメリカ	1.9
8	US Treasury 3.50% 15/02/2033	アメリカ	1.7
9	US Treasury 3.00% 15/08/2052	アメリカ	1.4
10	US Treasury 3.375% 15/08/2042	アメリカ	1.3

#### ●フィデリティ・ファンズ-エマージング・マーケット・デット・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)

(2023年4月30日現在)

	銘柄名	国・地域	比率
1	Comision Federal de Electric 5.00% 30/07/2049 EMTN	メキシコ	3.1%
2	Turkey 9.125% 13/07/2030	トルコ	3.0
3	Qatar 3.25% 02/06/2026 Reg S	カタール	2.0
4	Saudi Arabia 4.75% 18/01/2028 Reg S	サウジアラビア	1.8
5	Serbia 6.25% 26/05/2028 Reg S	セルビア	1.7
6	Saudi Arabia 5.50% 25/10/2032 Reg S	サウジアラビア	1.7
7	Ecopetrol 6.875% 29/04/2030	コロンビア	1.7
8	Nota Do Tesouro 10.00% 01/01/2031	ブラジル	1.6
9	Romania 3.624% 26/05/2030 Reg S	ルーマニア	1.5
10	Qatar 4.50% 23/04/2028 Reg S	カタール	1.5

### フィデリティ・ワールド株式・マザーファンド

#### ●フィデリティ・ファンズ-グローバル・ディビデント・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)

(2023年4月30日現在)

	銘柄名	国・地域	業種	比率
1	Unilever	イギリス	生活必需品	4.8%
2	RELX (NL)	イギリス	資本財・サービス	4.5
3	Deutsche Boerse	ドイツ	金融	3.8
4	Sanofi	フランス	ヘルスケア	3.7
5	Roche Holding	スイス	ヘルスケア	3.5
6	Omnicom Group	アメリカ	一般消費財・サービス	3.3
7	Wolters Kluwer	オランダ	資本財・サービス	3.1
8	Zurich Insurance Group	スイス	金融	3.1
9	Novartis	スイス	ヘルスケア	3.1
10	Iberdrola	スペイン	公益事業	3.0

#### ●フィデリティ・ファンズ-USDル・キャッシュ・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)

(2023年4月30日現在)

	銘柄名	国・地域	比率
1	Austria CP 4.85% 03/05/2023	オーストリア	3.5%
2	Sweden CP 4.88% 03/05/2023	スウェーデン	2.9
3	Mitsu Finance CP 4.98% 17/05/2023	イギリス	2.3
4	NAB VCD 0.44% 15/05/2023	オーストラリア	2.3
5	SG Issuer -0.80% 07/03/2024	ルクセンブルグ	2.0
6	Landeskreditbank CP 4.84% 03/05/2023	ドイツ	1.7
7	Royal Bank of Canada CD 0.46% 04/05/2023	カナダ	1.7
8	Mizuho London CD 5.50% 05/07/2023	イギリス	1.7
9	Cooperatieve CD 0.48% 17/05/2023	オランダ	1.2
10	Barclays CD 10.03% 02/05/2023	イギリス	1.2

## 指数に関して

### ●「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に記載の指数について

日本株	TOPIX(配当込)	東証株価指数(TOPIX)(以下「TOPIX」という。)の指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス(税引前配当金込/円ベース)	MSCI コクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した、日本を除く先進国の株式市場のパフォーマンス測定を目的とする浮動株調整済み時価総額加重指数です。著作権、およびその他知的所有権はMSCI Inc.に帰属しております。
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス(税引前配当金込/円ベース)	MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した、エマージング諸国の株式市場のパフォーマンス測定を目的とする浮動株調整済み時価総額加重指数です。著作権、およびその他知的所有権はMSCI Inc.に帰属しております。
日本国債	NOMURA-BPI 国債	NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する、国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI 国債の知的財産権およびその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、NOMURA-BPI 国債の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当ファンドの設定の可否、運用成果等並びに当ファンド及びNOMURA-BPI 国債に関連して行われる当社のサービス提供等の行為に関して一切責任を負いません。
先進国債	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)	FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
新興国債	J. P. モルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)	この情報は信頼性があると信じるに足る情報源から得られたものですが、J. P. モルガンはその完全性または正確性を保証するものではありません。このインデックスは使用許諾を得て使用しています。 J. P. モルガンによる書面による事前の承諾なくこのインデックスを複写、使用、頒布することは禁じられています。 Copyright © 2022 J.P. Morgan Chase & Co. 無断複写・転載を禁じます。